



しなやかに 未来を切り拓く 山口大学

学長挨拶

Greetings from the President

人は五感を鋭くして情報を集め、それを統合して判断を下してきました。現在、人の五感を補い、時に凌駕しうるセンサーが発達し、人工知能(AI)は人を超える能力で膨大な情報を瞬時に統合し、解を導き出します。しかし、AIに指示を与え、その結果をもとに的確な判断を下して実社会に活用していくのは、他ならぬ「人」の役割です。

山口大学は、常に変化する時代を切り拓く先端的研究を進め、同時に時代の要請に応える人材育成を行なっています。この目的のため、本年、2026年4月に「情報学部」の新設と「工学部」の再編を行います。新たに誕生する情報学部では、システム情報学、知能情報学、空間情報学、人間情報学の4分野を広く学修するとともに、分野に対応した4つのコースを設け、人間中心の価値創造力の育成や、社会の多様な課題に対応できる先端IT人材の輩出を目指します。また、「工学部」において創設以来となる大規模な再編を行い、従来の7学科を「創成工学科」と「建築学科」の2学科に改組します。これにより、分野横断的に広く工学の基礎を学んだ上で専門性を深める、新しい時代のスタイルに合った教育を展開してまいります。

昨年、小中一貫校として統合した「教育学部附属光義務教育学校」、学部相当の教育課程として新設した「ひと・まち未来共創学環」、そして、文系大学院を再編、新たな専攻を加えてスタートした「人間社会科学研究所」では、すでに新入生を迎え順調に発展しつつあります。本年はさらに、新生工学部、情報学部に入学生を迎え、教育の一層の充実をはかります。

1815年に長州藩士・上田鳳陽により創設された山口講堂を起源とする本学は、210年を超える歴史を経て、基幹総合大学へと発展しました。「発見し、はぐくみ、かたちにする知の広場」という理念のもと、多様な価値に共感・共鳴しつながら魅力あるダイバーシティキャンパスを形成しつつあります。同時に、総合大学が生み出す多様な知が共奏することにより、変化する社会をしなやかに先導したいと考えています。「山口大学レポート2026」は、こうした本学の2025年度の歩みをまとめた年報です。本レポートが、皆様に山口大学をより深くご理解いただくための一助となれば幸いです。今後とも温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2026年3月 山口大学長 谷澤 幸生

Contents

- 02 学長挨拶
- 03 明日の山口大学ビジョン2030
- 05 実績
 - 教育 枠を超えた連携による持続的な教育革新
 - 研究 未来を拓く研究改革：山口大学におけるイノベーション・エコシステムと社会貢献
 - 地域 地域と共に、未来を創る大学へ
ダイバーシティ ダイバーシティキャンパスへの歩み
～活力の源泉としての多様性～
 - 経営 教職員や学生が地域と共に元気に楽しく活躍できる
- 15 特集 工学部再編・情報学部新設

山口大学レポート 2026

- 19 山口大学 Topics & News
- 24 財務データ・ガバナンス
 - 財務情報
 - 山口大学の内部統制体制について
- 31 山口大学基金
- 33 夢に挑戦、社会に貢献する山大病院
- 35 山口大学データ集
 - 山口大学の気になる数字
 - 入学志願者・入学状況
 - 卒業生・修了者の就職状況

Cover Story



ひと・まち未来共創学環

ひと・まち未来共創学環は、令和7年4月に初めての新入生を迎えてスタート。心の豊かさやまちの豊かさの観点から、ひとや地域の課題発見、解決を目指し、新たな価値の創出につながることをテーマに、すでに学内外で精力的に活動しています。